

YAMAHA

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

GT-CD2

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

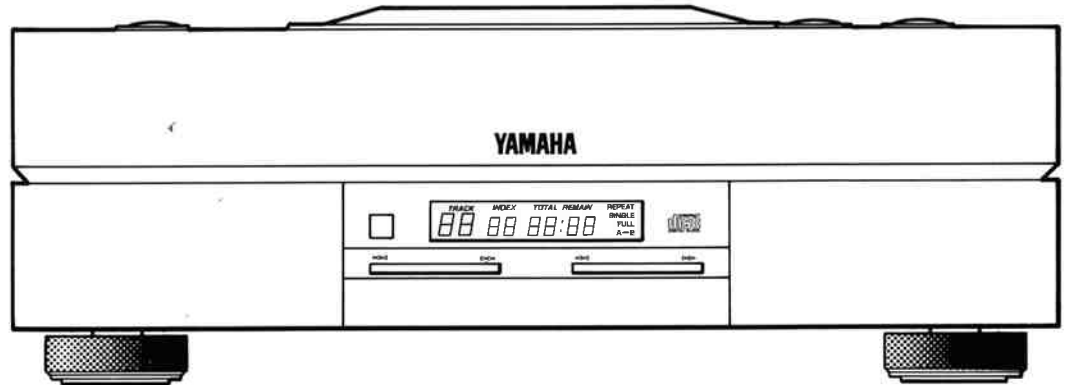
YAMAHA GT-CD2

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤー GT-CD2を
お買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

GT-CD2の優れた性能を充分に発揮させるとともに、末永く

ご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくだ
さいますよう、お願いいたします。

また、お読みになりましたあとも、保証書とともに大切に保管してください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続き
を行ってください。

保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中
でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことが
ありますので、充分にご注意ください。

目次

特長	3	インデックス演奏	14
ご使用の前に	4	リピート演奏	15
お手入れについて	4	リモコンについて	16
接続のしかた	5	コンパクトディスクの取り扱い	16
各部の名称とはたらき	6	故障かなと思ったら	17
基本的な演奏	8	参考仕様	17
選曲演奏のしかた	11	ブロックダイアグラム	18
プログラム演奏	12	ヤマハホットラインサービスネットワーク	19

特長

本機は、ヤマハ独自の設計理念「GT思想」(Gigantic & Tremendous)に基づき、シャーシ設計と、アメリカンウォルナット化粧の外装、音質重視の回路設計など、ヤマハCDプレーヤーの集大成モデルです。

ツインノイズシェイパー1 bit DACを搭載

ヤマハの“ハイビット”思想を受け継ぐGT-CD2は、デジタルセクションに、オリジナルの2次ノイズシェイパー内蔵1 bit DACを2個搭載。微少レベルでの再現性をも飛躍的に向上させました。

ディスクリートアンプ

GT-CD2のオーディオ系アンプは、ICを一切使わず、すべてをトランジスタによるディスクリート構成を採用。高音質を実現しました。

ノイズ低減を確保する2枚基板構成

回路ブロックはメカサーボ部とアナログオーディオ部に分け、2枚基板構成としています。さらに各々の基板は両面基板を採用、片面をグランドシールドすることで、デジタルノイズを激減させました。また基板構成に合わせ、電源部には2トランスを配備、かつ、サーボ部、DAC部、アナログアンプ部の3巻線とし回路相互間の影響を最小にしています。

GT電源の搭載

オーディオ部の電源には総計27,000 μ F以上にもおよぶ大容量コンデンサーを有するGT電源を搭載。安定で揺るぎない電力を供給しています。

デジタル・アナログ技術をフルサポートするメカ、外装

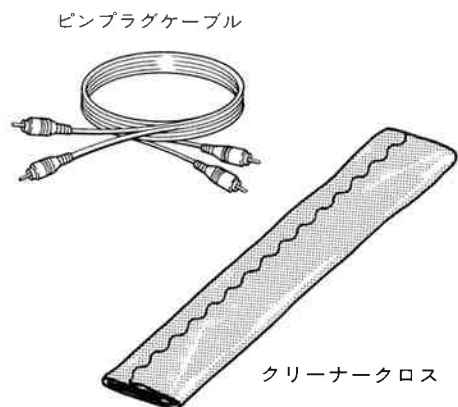
本体は、高剛性を発揮する高密度パーチクルボード製のプレーヤーベースと、肉厚のアルミブロック、鉄アングルで構成する筐体の二重構造となっています。またメカ部は、音質追求の結果、従来のフローティングシステムを排し、シンプルなメカニズムのリジッド構造を採用しました。また各所に厳選された素材を投入しました。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

付属品を確認してください



※電池の入れかたは、16ページをご参照ください。

ご使用前に

- 次のような場所には設置しないでください。
 - ◆ 直射日光の当たる場所では、開いたガラス製リッドの集光作用により、集光された箇所が熱により変形・変色することがあります。
(演奏終了後は必ずリッドを閉じてください。)
 - ◆ 窓際や、暖房器具の近くなど極端に温度の高い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)では、本機の正常な機能を維持できない場合があります。
 - ◆ 熱を発生するアンプなどの近くには設置しないでください。特にラック内などに設置するときはご注意ください。
 - ◆ 湿度の高い場所(湿度90%以上)は、金属部分にサビを生じたり故障の原因となることがあります。
 - ◆ ほこりの多い場所は、スイッチなどの接触不良や雑音などの発生原因となり性能を損なうことがあります。
 - ◆ トランスやモーターの近く、または振動の多い場所には設置しないでください。誘導ハムをひろう原因となります。
 - ◆ リッドの開閉をさまたげないよう、本機の上方には25cm程度のスペースを確保してください。
- 本機はデジタル機器のため、テレビやチューナーなどに影響を与えることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに換えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源を切ってください。
- 定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切に取り扱いってください。特にコンセントから外すときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - * 本機は、国内電源AC100V±10V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は故障などの原因となりますので、絶対に避けてください。
- 旅行や外出などで本機を長期間使用しないときは、安全のため電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 落雷のおそれがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本機の底板などは開けないでください。
内部に手などを入れますと感電事故や故障を起こすことがあります。本体内部に異物が入ったときは、ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 万一本機に雨や花瓶などの水がかかったときは、直ちに電源プラグを抜いて販売点にご連絡ください。この状態で電源を入れますと、感電のおそれがあり危険です。また故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 接点復活剤は塗布部などに悪影響をおよぼしますので、使用しないでください。
- 故障と思われる場合は、まず17ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

● 結露について

冬期などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置している部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつくことがあります。

露がついたままでは、ディスクの信号の読みとりや正常な演奏ができません。このようなときは電源を入れたまま1~2時間そのまま放置し、露が消えてからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が本機に直接当たるときにも起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

* ディスクをケースから取り出したとき、ディスクに露がつくことがあります。このようなときはディスクの露を十分に拭き取ってから本機にセットしてください。

● ご注意

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のように演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリューム位置にご注意ください。

お手入れについて

■ ほこりにご注意ください

レンズにほこりが付くと、音とびなど演奏ができなくなる原因となります。

ご使用にならないときは必ずリッドを閉じておいてください。

またレンズやターンテーブルには手を触れないでください。

■ レンズの汚れは

ほこりはカメラのレンズ用ブローで払ってください。

このとき、レンズに指などで触れないようにご注意ください。万一指紋などが付いた場合は、綿棒で軽く拭いてください。

■ リッド内部の汚れは

6ページ③ディスクテーブルの項をご覧ください。

■ 木製キャビネット部の汚れは

木製キャビネット部を美しく保つため、お茶など熱いものを置いたり、水気およびシンナー、ガソリン、殺虫剤、整髪料をかけたり、ビニール、ゴム系の敷物を載せないようにご注意ください。

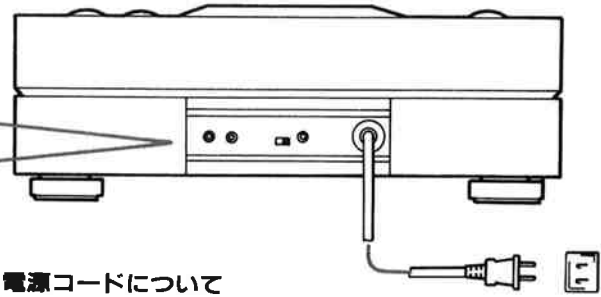
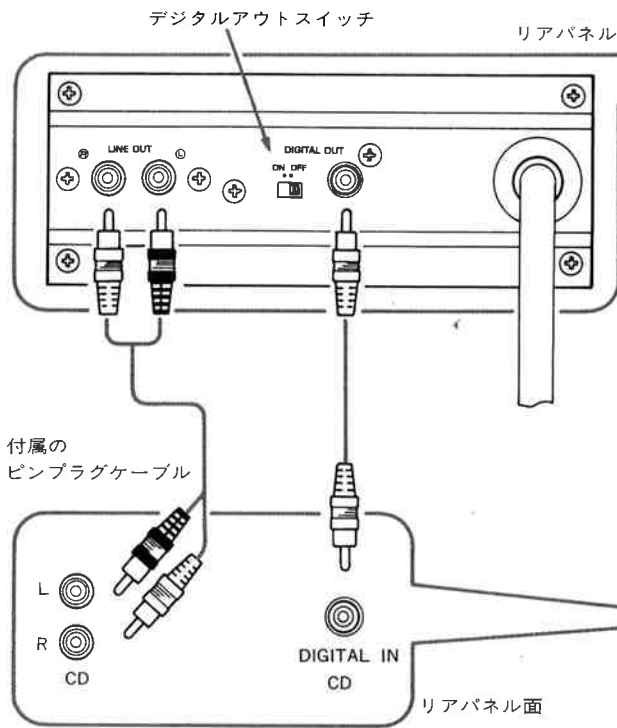
また、化学雑巾の使用は避けてください。表面の仕上げを傷めることがあります。

お手入れは付属のクリーナークロスまたは柔らかい布でから拭きするようにしてください。

接続のしかた


- 接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認し正しく接続してください。
- 接続する機器によっては端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。

- 本機はリッドが開閉しますので、上方に25cm程度のスペースをあけてください。

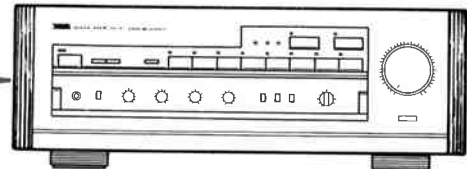


■電源コードについて

電源コードはAC100Vの家庭用コンセントあるいはアンプの電源コンセントに接続してください。本機の消費電力は19Wです。アンプに接続するときは、アンプの電源コンセントの供給電力を確認してください。

- 本機の電源プラグには極性表示(電源トランスの巻始め側をプラグに「」マークで表示)があります。これは接続する機器と電源極性を合わせるためのものです。接続する機器のコンセントに極性表示がある場合は、極性を合わせてください。

アンプ/プリアンプ



■出力端子について

本機はアナログ(LINE OUT)、デジタル(DIGITAL OUT)の2系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する接続端子をお選びください。

●アナログ出力端子

本端子は、付属のピンプラグケーブルを使ってアンプのCD(アナログ)端子に接続します。

●デジタル出力端子

デジタル入力端子を装備した機器と接続するときは、本端子とアンプのCD(デジタル)端子を接続します。接続の際は、付属のピンプラグケーブルの片側、あるいは市販のピンプラグケーブルをご使用ください。

- ※本端子を使用するときは、デジタルアウトスイッチをオン、使用しないときはオフにしてください。

■レッグ(脚)について

本機の出荷時は、ピンポイントレッグの上にレッグベースが装着されています。

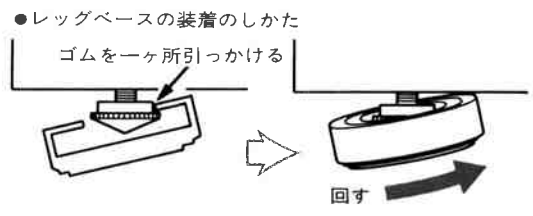
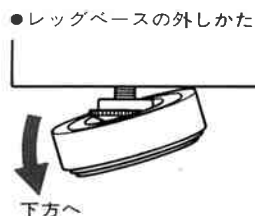
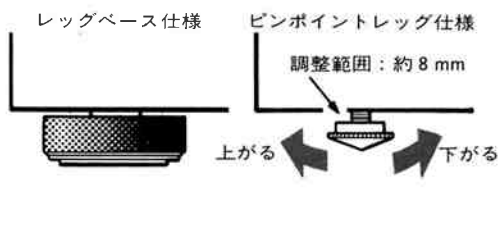
レッグベース仕様での使用が一般的ですが、GTラックなどのしっかりした台の上ではピンポイントレッグ仕様にする、さらにクリアな音質が得られます。

レッグベースは簡単に脱着できますので、設置条件に合わせてお選びください。

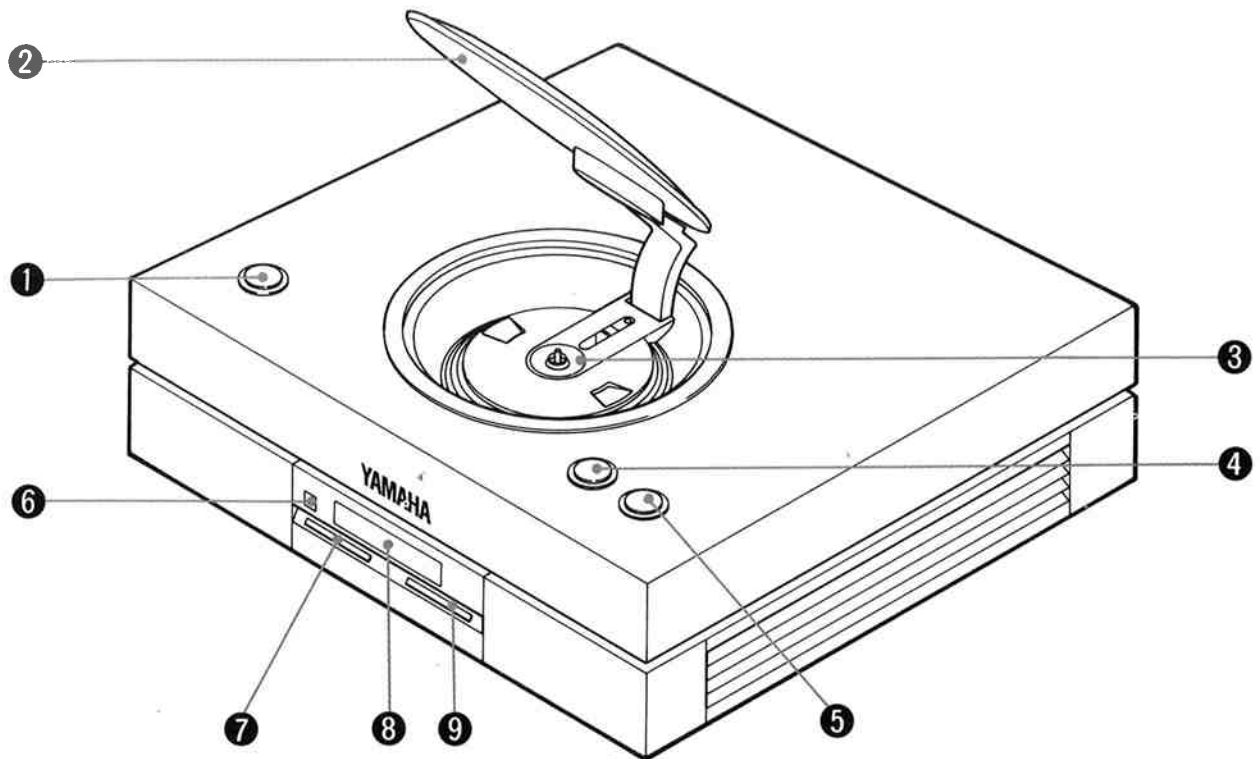
また本機の脚は高さ調整機能があります。

CDプレーヤーは水平に設置したときに最高の音質になるようにチューニングされていますので、設置場所に合わせて、本体が水平になるように調整してください。

- ピンポイントレッグを右に回しますと本体が下がり、左に回しますと上がります。調整範囲は最大で約8mmです。それ以上高くしますとレッグが本体から外れることがあります。
- ピンポイントレッグとレッグベースを混ぜて使用しないでください。
- 長期間、ピンポイントレッグで使用しますと設置場所にへこみをつけたりすることがあります。また、移動時に本体を持ち上げずすべらせると、設置場所に傷をつけることがあります。設置場所の材質や移動方法には充分ご注意ください。またガラスの台は、割れたりする危険性がありますので、設置しないでください。



各部の名称とはたらき



①POWERスイッチ

押すと電源が入り、ディスプレイが点灯します。もう一度押すと電源が切れます。

②リッド

OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉じます。

- リッドは電源がオンの状態でなければ開閉できません。
- リッドを手で開閉することは避けてください。

③ディスクテーブル

CDディスクをセットするところです。

- ディスクをセットしたあとは、必ず付属のスタビライザクランパーを乗せてください。乗せていないと演奏できません。
- ゴム部分のお手入れは、水またはエチルアルコールで湿したガーゼ類を固く絞ってから、汚れを軽くふき取ってください。ほこりを取るときはセロハンテープ等の軽粘着物が有効です。

④OPEN/CLOSEキー

リッドを開閉するキーです。キーを押すと開き、もう一度押すと閉じます。

- 演奏中にキーを押すと、演奏が停止しリッドが開きます。

⑤PLAY/STOPキー

演奏をスタート/停止させるキーです。

停止状態のときにキーを押すと演奏がスタートし、演奏中に押すと演奏が停止します。

- リッドが開いているときにキーを押すとリッドが閉じ、ディスクがセットされているときは演奏がスタートします。

⑥リモコン受光窓

リモコンの信号を受光するところです。

⑦SKIPキー

演奏を次の曲または前(演奏中)の曲の頭にスキップさせるキーです。また、プログラムのチェックをするときにも使います。

▷▷キー

一曲ずつ次の曲の頭に進めるキーです。

- 演奏時 : 次の曲の頭から演奏
- ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ
- 停止時 : 曲番が増えます

- 押し続けると連続的に曲番が増えます。

◀◀キー

演奏またはポーズしている曲の頭に戻すキーです。また一曲ずつ前の曲の頭に戻すキーです。

- 演奏時 : その曲の頭から演奏
- ポーズ時 : その曲の頭でポーズ
- 停止時 : 変化しません。

- 押し続けると連続的に前の曲番に戻ります。

⑧ディスプレイ

次のページをご参照ください。

⑨SEARCHキー

演奏を早送り・早戻しさせるキーです。

▷▷キー[早送り]

演奏を早送りさせるキーです。

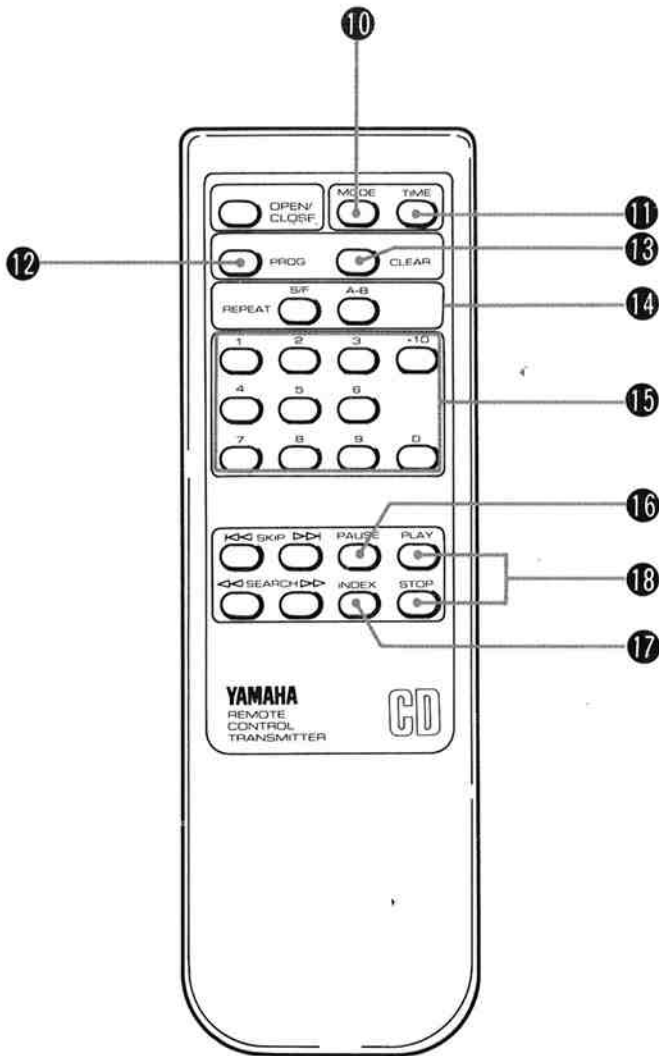
- 演奏時 : 音出し早送り
- ポーズ時 : 音無し早送り
- 停止時 : 変化しません

◀◀キー[早戻し]

- 演奏時 : 音出し早戻し
- ポーズ時 : 音無し早戻し
- 停止時 : 変化しません

リモコン

●本体と同じ表示のキーは本体と同じ働きをします。



^{モード}⑩MODEキー

ディスプレイモードを切り換えるキーです。
(10ページ参照)

●電源オン時はディスプレイモードはノーマルになっています。

^{タイム}⑪TIMEキー

キーを押すごとにディスプレイの時間表示モードが切り換わります。
(10ページ参照)

^{プログラム}⑫PROGキー

プログラム演奏をするときに、その設定やチェック、変更などをするキーです。
(12ページ参照)

^{クリア}⑬CLEARキー

プログラム演奏を解除するキーです。
(13ページ参照)

^{リピート}⑭REPEATキー

リピート演奏をするときに押します。
(15ページ参照)

S/F：一曲リピート(S)、全曲リピート(F)のセットと解除およびA-Bリピートを解除するときに押します。

A-B：A-Bリピート演奏をするときや解除するときに押します。

⑮数字キー

選曲する曲番、プログラム曲番、インデックス番号などを指定するキーです。
(11、12、14ページ参照)

^{ポーズ}⑯PAUSEキー

演奏をポーズ(一時停止)させるキーです。

演奏を再開するときは、リモコンのPAUSEキー、PLAYキー、または本体のPLAY/STOPキーを押します。

^{インデックス}⑰INDEXキー

インデックス演奏をセットするときに押します。
(14ページ参照)

^{プレイ}⑱PLAYキー、^{ストップ}STOPキー

本体のPLAY/STOPキーは押すごとにPLAY機能とSTOP機能の交互の働きをしますが、リモコンのPLAYキーとSTOPキーはおのおの独立して機能します。

ディスプレイ

^{トラック}TRACK(曲番)インジケータ

演奏時やプログラム設定時に曲番を表示します。

^{インデックス}INDEXインジケータ

ディスプレイモードがフルのときやインデックスサーチ中にインデックス番号を表示します。



^{トータル・リメイン}TOTAL・REMAINタイムインジケータ

リモコンのTIMEキーを押すごとに時間表示モードが切り換わります。

^{リピート}REPEAT ^{シングル}SINGLE/^{フル}FULL/A-Bインジケータ

リピート演奏の種類がREPEAT SINGLE(一曲リピート)、REPEAT FULL(全曲リピート)、A-B(2点間リピート)かを表示します。

基本的な演奏 — ディスクの1曲目から演奏するとき

■本取扱説明書はリモコンによる操作を中心に説明しています。本体のキーで操作するときには対応するキーをご使用ください。

1 本体のPOWERスイッチを押して電源を入れます。

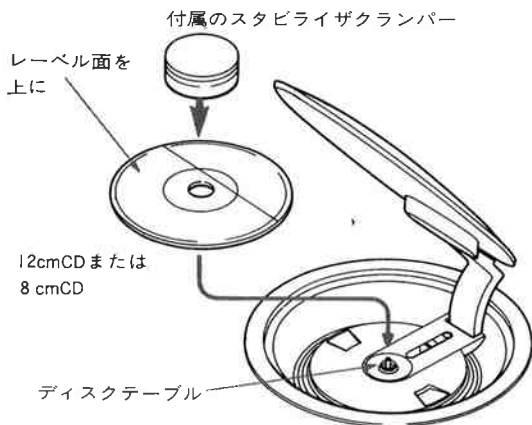


2 OPEN/CLOSEキーを押してリッドを開けます。

3 ディスクをディスクテーブルにセットし、その上に付属のスタビライザランパーを乗せます。

- ディスクはレーベル面を上にしてセットします。
- スタビライザランパーを乗せないと演奏はできません。

■ディスクのセットのしかた



- 市販のディスクスタビライザなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因となりますので、絶対にご使用にならないでください。

4 再度OPEN/CLOSEキーを押してリッドを閉めます。

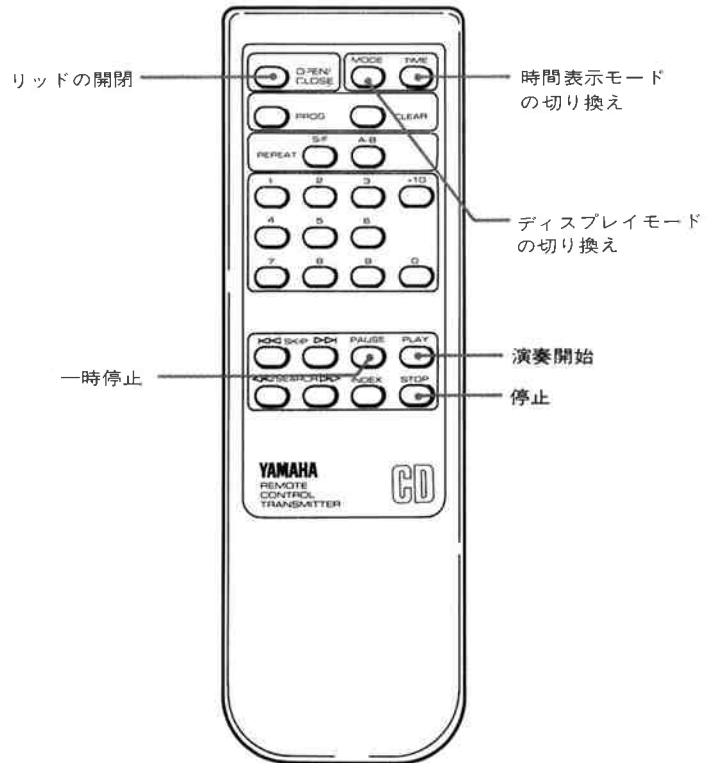
- 本機がディスクのTOC*を読み込み、ディスプレイはディスクの総曲数と総演奏時間を約3秒間表示し、停止状態になります。

ディスクの総曲数



ディスクの総演奏時間

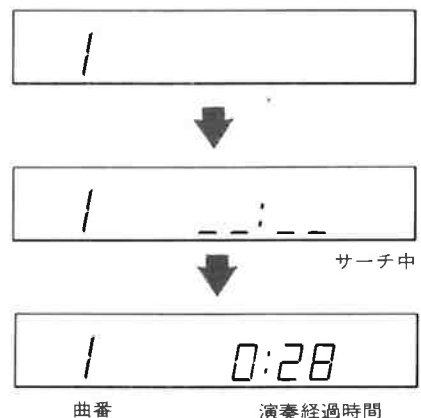
- TOCの読めないディスクをセットすると、総曲数“0”を表示しリッドが開きます。また、ディスクを裏返しにセットすると演奏できません。



リッドはPLAYキーを押すと閉まります。その場合は、総曲数、総演奏時間を表示せずに演奏がスタートします。また数字キーを押しても閉まります。→ダイレクト選曲(11ページ参照)

- PAUSEキーを押してリッドを閉めると1曲目の頭でポーズになります。

5 PLAYキーを押します。



- ディスクの1曲目から最後の曲まで演奏します。ディスプレイは演奏中の曲番とその曲の演奏経過時間を表示します。
- ディスクの最終曲の演奏が終わると、1曲目の頭に戻って自動的に停止します。

■演奏を一時停止するときは

PAUSEキーを1回押します。

キーを押したところで演奏はポーズ(一時停止)し、ディスプレイの時間表示のコロン(:)が点滅します。

- 演奏を再開するときは、PAUSEキー、またはPLAYキーを押します。
- 一時停止中もディスクは回転を続けます。



■演奏を止めるときは

STOPキーを押します。

ディスクの回転は止まり、ピックアップは1曲目の頭に戻ります。



■ディスクを取り出すには

OPEN/CLOSEキーを1回押します。

演奏中は演奏が停止し、リッドが開きます。

スタビライザランパーを外してディスクを取り出し、リッドを閉めます。

- 本機を使用しないときは、ゴミやホコリの侵入を防ぐために必ずリッドを閉めておいてください。
- リッドが開閉動作中は電源を切らないでください。

TOCとは*

CDディスクの内周にはTOC(Table of Contents)と呼ばれる部分があり、そのディスクの内容(総曲数、総演奏時間など)が記録されています。本機はディスクをセットしリッドを閉めると、最初にTOCの読み込みを行い、種々の演奏モードに対応します。

ご注意

- ・リッドが開閉動作中は手で押さえたり、無理に開けたりしないでください。故障の原因となります。
- ・ディスクテーブルにはCDディスク以外のものは乗せないでください。故障の原因となります。
- ・ディスクテーブルにセットできるディスクは1枚です。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となります。
- ・ディスクに傷などがあると、演奏開始が遅れたり、途中から演奏が始まる場合があります。
- ・偏芯したディスクは演奏中に異音が発生することがありますので、ご使用にならないでください。
- ・演奏中は本機を動かさないでください。演奏中ディスクは高速で回転しています。このとき本機を動かしたり、衝撃を与えますと、音とびやディスクを傷つけたりすることがあります。本機を移動する場合は、必ず演奏を中止しディスクを取り出してください。

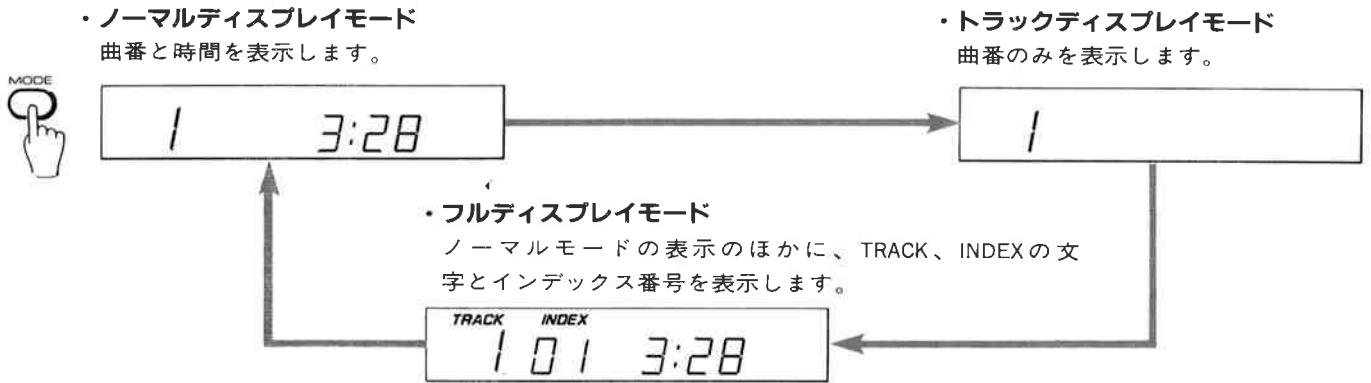
ディスプレイについて

■ディスプレイモード

MODEキーを使いますと、ディスプレイモードを切り換えることができます。

キーを押すごとにノーマルディスプレイモード・トラックディスプレイモード・フルディスプレイモードが順次切り換わります。

- 電源オン時はノーマルディスプレイモードに設定されています。
- ノーマルディスプレイモード時も、インデックス操作をすると“INDEX”の文字が数秒間表示されます。



■時間表示モード

TIMEキーを使いますと、時間表示モードを切り換えることができます。

ディスプレイモードがノーマルディスプレイモードまたはフルディスプレイモードのときは、キーを押すごとに表示が切り換わります。

- ディスクによっては曲間時間の算定の有無などによって、本機の表示する時間とディスクのジャケットに記載されている時間が異なることがあります。
- 停止状態のときはトータルタイムのみ表示します。
- プログラム演奏などでトータルタイム、トータルリメインタイムが100分を越える場合は時間表示しません。

- ・シングルタイムモード
演奏中の曲の、頭からの演奏時間経過を表示します。

- ・トータルリメインタイムモード
ディスクの総演奏残り時間を表示します。



※表示はフルディスプレイモード時です。

- ・シングルリメインタイムモード
演奏中の曲の演奏残り時間を表示します。

- ・トータルタイムモード
ディスク全曲の総演奏時間を表示します。

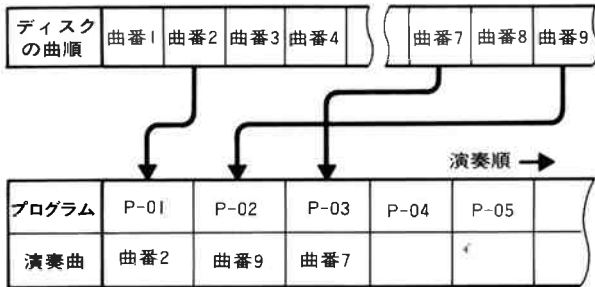
プログラム演奏

ディスクの任意の曲を選んで任意の順番で演奏することができます。

・最大25曲までプログラムすることができます。

プログラム演奏のしかた

例：曲番2、9、7・・・の順で演奏したいとき



1 停止状態にします。

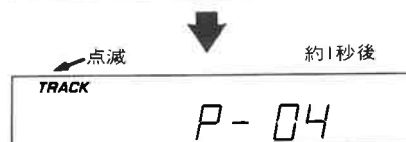
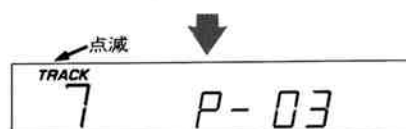
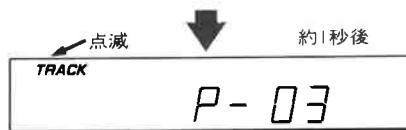
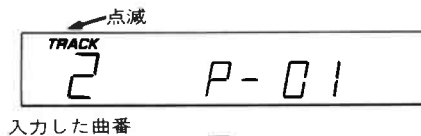
2 PROGキーを押します。



3 数字キーを押します。

例の場合は2、9、7の順に押します。

・25曲をセットすると自動的にP-01に戻ります。



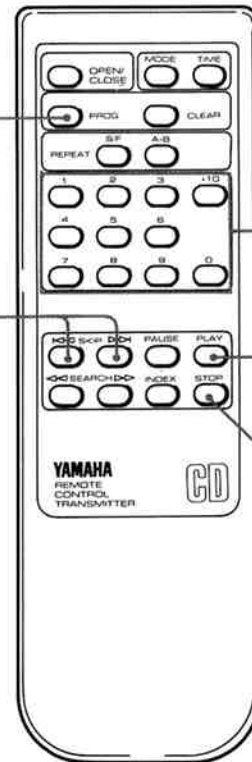
プログラム設定の
開始/終了

プログラムのチェック、
変更、削除、追加

プログラム選曲

プログラム演奏

プログラム設定の
準備



4 プログラムの設定を終えるときはPROGキーを押します。

5 PLAYキーを押すとプログラム演奏が始まります。

・プログラムの演奏が終わりますと、自動的にP-01の曲の頭に戻り停止、次のプログラム演奏のスタンバイ状態になります。

プログラムの設定中にTIMEキーを押すと、プログラムした曲の総演奏時間が約3秒間表示されます。

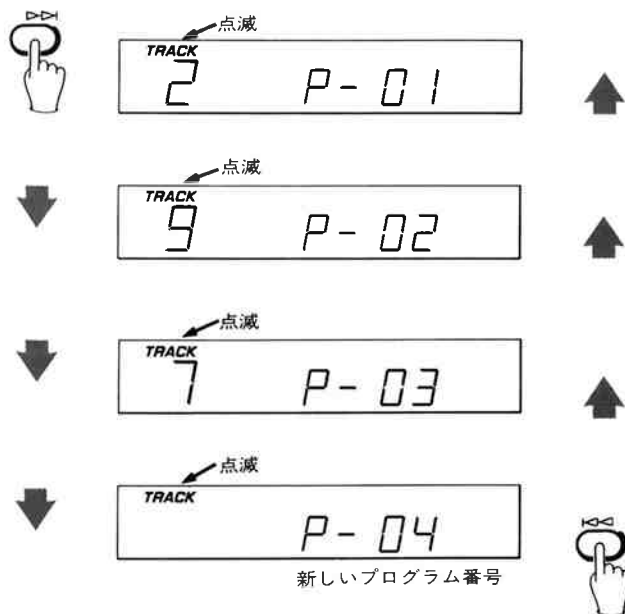


演奏中はTIMEキーで各表示を切り換えることができます。

- ・プログラム演奏中は一曲リピート、全曲リピートはできませんが、A-Bリピートはできません。
- ・インデックスのプログラム演奏はできません。
- ・プログラムの総演奏時間が100分を超えた場合は、トータルタイムとトータルリメインタイムは表示されません。

■プログラムのチェック

- 1 STOPキーを押します。
- 2 PROGキーを押します。
- 3 ▷▷キーを押すごとにP-01から順にプログラムした曲番が表示されます。
●◀◀キーを押すと表示順が逆になります。



■プログラムの変更や削除

- 1 STOPキーを押します。
- 2 PROGキーを押します。
- 3 ▷▷キーまたは◀◀キーで変更または削除したい曲番とプログラム番号を表示させます。
- 4 **変更する場合は：**新しい曲番号を押します。
削除する場合は：数字キーの"0"を押します。
- 5 PROGキーを押します。

■プログラムの追加

- 1 STOPキーを押します。
- 2 PROGキーを押します。
- 3 ▷▷キーで新しいプログラム番号を表示させます。
●例の場合は「P-04」が新しいプログラム番号です。
(右上イラスト参照)
- 4 追加する曲番の数字キーを押します。
●P-25まで追加することができます。
- 5 PROGキーを押します。

■プログラムの解除

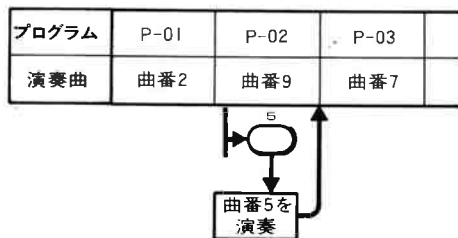
プログラムの設定中や演奏前は：CLEARキーを押します。
プログラムの演奏中は：STOPキーを押してからCLEARキーを押します。

またリッドを開けたり、電源を切るとプログラム演奏はすべて解除されます。

■プログラム演奏中の選曲操作について

◀◀、▷▷キーを押すとプログラムされている順番でスキップ選曲をすることができます。
またダイレクト選曲をすると、プログラムされていない曲を演奏することができます。その場合は、ダイレクト選曲した曲の演奏が終わると、元のプログラム演奏に戻ります。

例：P-02、曲番9を演奏中に曲番5をダイレクト選曲すると

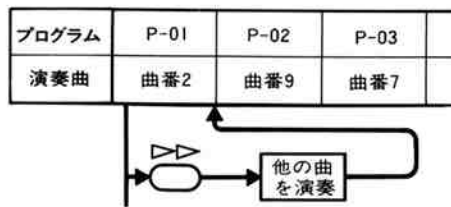


曲番5の演奏終了後にP-03、曲番7の演奏に戻ります。

■プログラム演奏中のサーチについて

◀◀、▷▷キーを押すと、プログラムの順番に関係なくサーチ選曲をすることができます。
この場合は、サーチ選曲した曲の演奏が終わると、元のプログラム演奏に戻ります。

例：P-01、曲番2を演奏中にサーチ選曲をすると



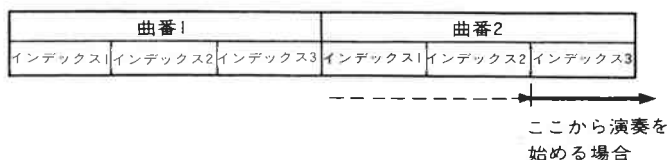
サーチ選曲した曲の演奏終了後にP-02、曲番9の演奏に戻ります。

インデックス演奏

クラシック曲など、長時間の演奏が収録されているディスクのなかには、楽章ごとにインデックスが設定されているものがあります。そのようなディスクは、インデックス番号を指定することにより、インデックスから演奏を始めることができます。

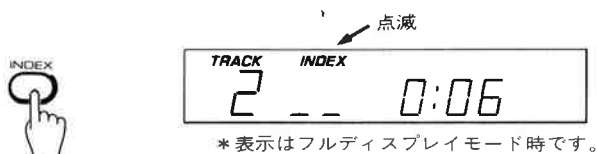
- インデックス番号が設定されているディスクには **INDEX** マークがディスクの解説書に記載されています。お確かめください。
- フルディスプレイモードで演奏中は、インデックス番号が表示されます。またインデックス番号の設定されていないディスクでは“01”が常に表示されます。

例：曲番2のインデックス3から演奏するとき



1 ダイレクト選曲、スキップ選曲などでインデックス演奏をする曲番を選びます。
例の場合は曲番2です。

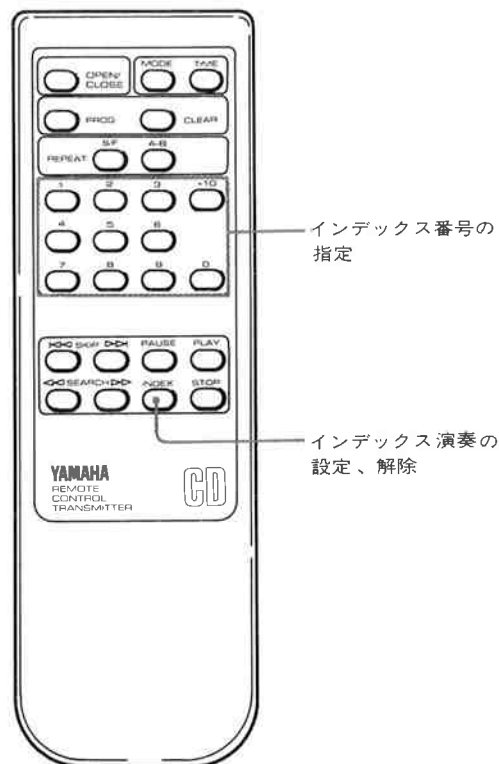
2 INDEXキーを押します。



3 数字キーでインデックス番号を指定します。
例の場合は3です。



指定したインデックスから演奏が始まります。



■インデックスの解除

インデックス演奏が始まるまでの間に、再度INDEXキーまたはPLAYキーを押します。また一度インデックス演奏が始まると、インデックス設定モードは自動的に解除されます。

- ・インデックスのない曲にインデックス番号を指定すると、その曲の頭から演奏されます。
- ・インデックス演奏は開始するまで多少時間がかかることがあります。
- ・インデックス演奏は指定した箇所少し前から演奏することがあります。
- ・ディスクに設定されているより大きなインデックス番号を指定した場合は、最終インデックス番号から演奏が始まります。
- ・プログラムが設定されているときはインデックス演奏はできません。

リピート演奏

本機は一曲リピート、全曲リピート、A-Bリピートの3種類のリピート演奏をすることができます。

REPEAT S/Fキーを押すごとに、一曲リピート (REPEAT SINGLE表示) → 全曲リピート (REPEAT FULL表示) → リピート演奏解除 (表示消灯) に切り換わります。

またA-Bキーを押すごとにA-BリピートのA点設定 (B点減) → B点設定 (B点灯) → A-Bリピート解除 (A-B表示消灯) の順に切り換わります。

●リピート演奏の設定はディスプレイモードをノーマルまたはフルにすると便利です。

■一曲リピート

REPEAT S/Fキーを押して、REPEAT SINGLE表示にします。

その曲を繰り返し演奏します。

■全曲リピート

REPEAT S/Fキーを押して、REPEAT FULL表示にします。

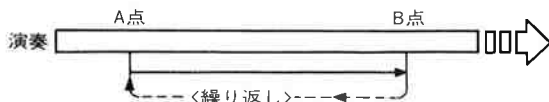
ディスクの全曲または設定したプログラムを繰り返し演奏します。

●一曲リピート、全曲リピートの解除

REPEAT S/Fキーを押して、REPEAT SINGLEあるいはREPEAT FULL表示を消灯させます。また一曲リピートはリッドを開閉したときも解除されます。

■A-Bリピート

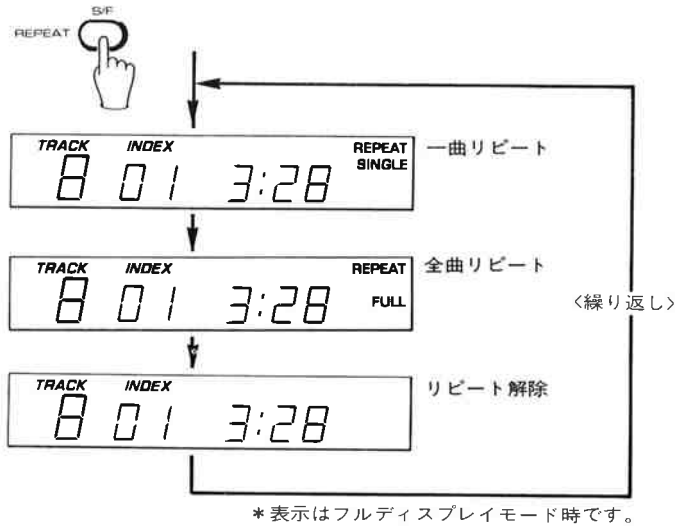
任意の2点を指定し、その間を繰り返し演奏することができます。



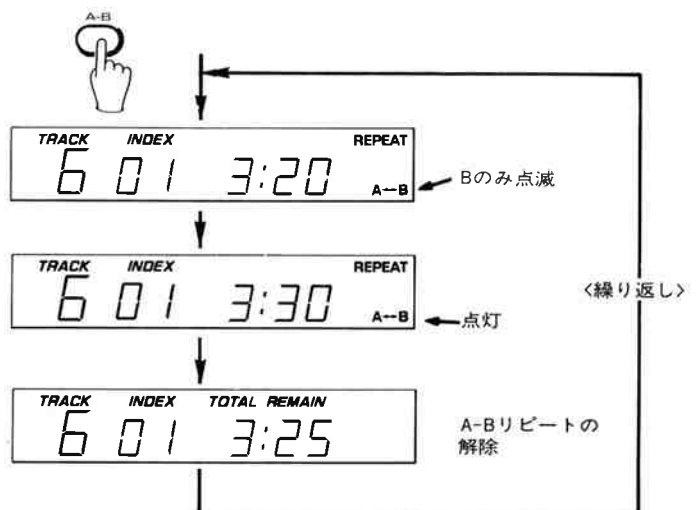
- 1 演奏を始めます。
- 2 繰り返しを始めたい箇所になったらREPEAT A-Bキーを押します。(A点指定)
- 3 繰り返しを終えたい箇所になったら再度REPEAT A-Bキーを押します。(B点指定)
 - ・B点が指定されると、A-B間を繰り返し演奏します。
 - ・ポーズ状態でもA-B間を指定することができます。

●A-Bリピートの解除

A-Bキーを押すか、REPEAT S/Fキーを押してREPEAT A-Bの表示を消灯させます。またSTOPキーを押したり、リッドを開閉したときも解除されます。



*表示はフルディスプレイモード時です。

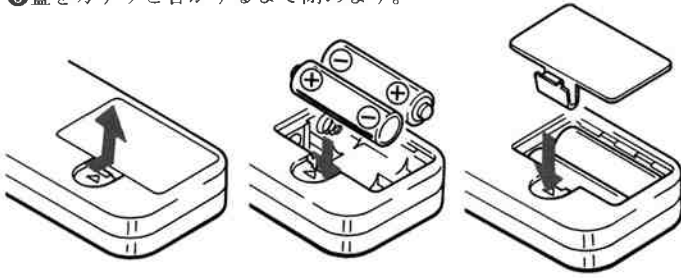


*表示はフルディスプレイモード時です。

リモコンについて

●電池の入れかた

- ①リモコンの裏の蓋を開けます。
- ②単3乾電池(SUM-3)2本をプラス(+)、マイナス(-)を正しく入れます。
- ③蓋をカチッと音がするまで閉めます。



●電池交換の時期は

リモコンで操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。早めに2本とも新しい乾電池に交換してください。

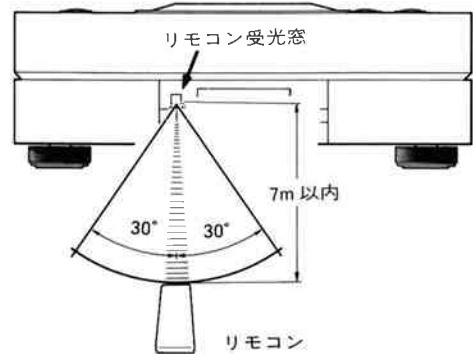
■乾電池に関するご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きを、リモコンのケースの表示通りに正しく入れてください。
- 種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一液漏れが起こった場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

■リモコン操作について

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。操作をするときはリモコンと本体のリモコン受光窓との間をさえぎらないようご注意ください。

●リモコンの操作範囲



付属のリモコンは

本機専用です。本機のリモコンによって誤動作する機器があるときは、その機器の受光部を紙などでふさぐか、その機器の設置場所を変えてください。

リモコンはていねいに扱ってください

お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

また本体のリモコン受光窓に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコン操作ができなかったり誤動作することがあります。

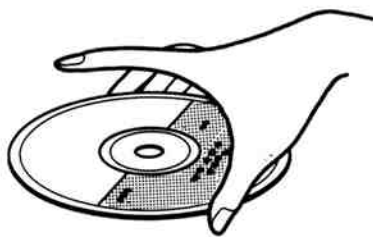
コンパクトディスクの取り扱い

本機はコンパクトディスク(CD)専用プレーヤーです。
compact disc MARKのマークのあるコンパクトディスクをお使いください。

- 規格外のディスクはご使用にならないでください。
規格外のディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、リッドが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

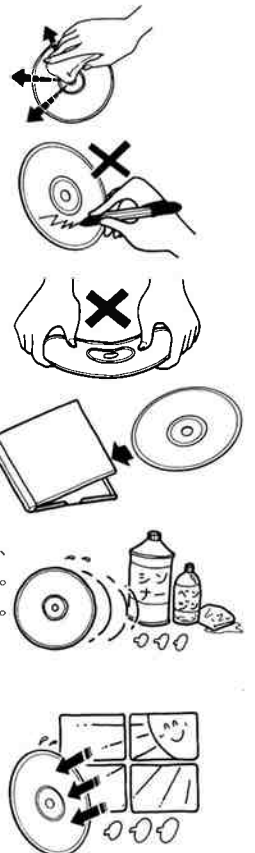
■ディスクの持ちかた

できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



■取扱い上の注意

- 信号面に指紋やホコリが付いたときは、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ホコリやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のホコリやよごれは、音には影響ありません。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- 曲げたりしないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- レコードスプレー、帯磁防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間放置しないでください。変形などの原因となります。



故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏返しにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	スタビライザクランパーがセットされていない	スタビライザクランパーを正しくセットしてください
音が出ない	出力ケーブルの接続が不完全	接続を確認してください
	デジタルアウトスイッチがオフになっている(デジタル接続時)	デジタルアウトスイッチをオンにしてください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所を変えてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力ケーブルのプラグの接続が不完全	プラグをしっかり接続しなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンで操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンの送信窓が本体の受光窓に向いていない	送信窓を本体の受光窓に向けて操作してください
	本体の設置場所が明るすぎる 受光窓に強い光が当たっている	照明を暗くするか、遮光してください

参考仕様

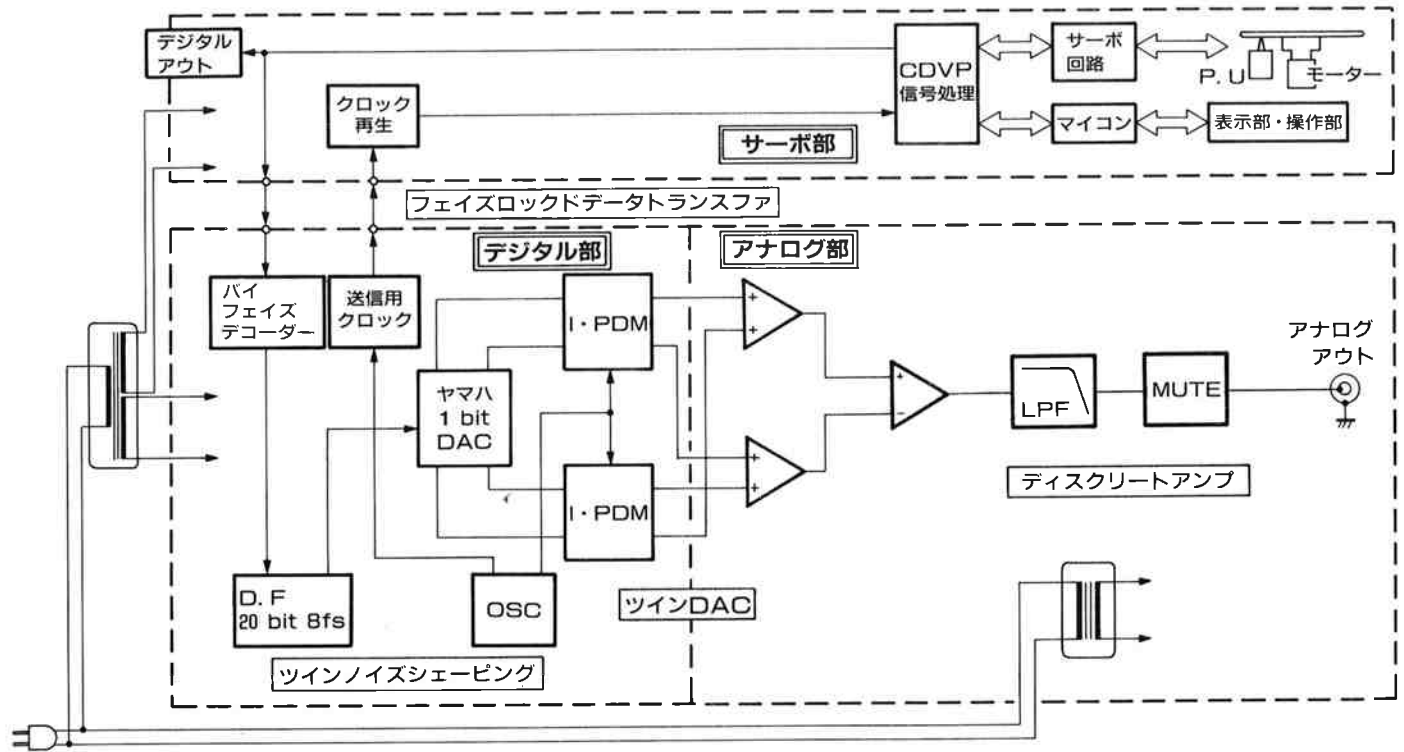
■型式	コンパクトディスクデジタルオーディオ
■オーディオ特性	
周波数特性	20 Hz～20kHz
ディエンファシス偏差	±0.5dB
高調波歪+雑音(1kHz)	0.0016%
S/N比(EIAJ)	118dB
ダイナミックレンジ	100dB
チャンネルセパレーション(1kHz～10kHz)	100dB
出力レベル(1kHz、0dB)	2.5V
出力インピーダンス	50Ω

■機 能	
頭出し	SKIPキーによる順次頭出し
インデックスサーチ	INDEXキー、数字キーによる指定
音出しサーチ(演奏時)	SEARCHキーによるサーチ
ポーズ	PAUSEキーを1回押す
ストップ	STOPキーを押す
総演奏時間表示	TIMEキーを押す
演奏残り時間表示	TIMEキーを押す
プログラム機能	マニュアルプログラム(最大25曲) プログラム総演奏時間表示機能 プログラム演奏残り時間表示機能
リピート	1曲、全曲、A-B間 プログラムの1曲、全曲

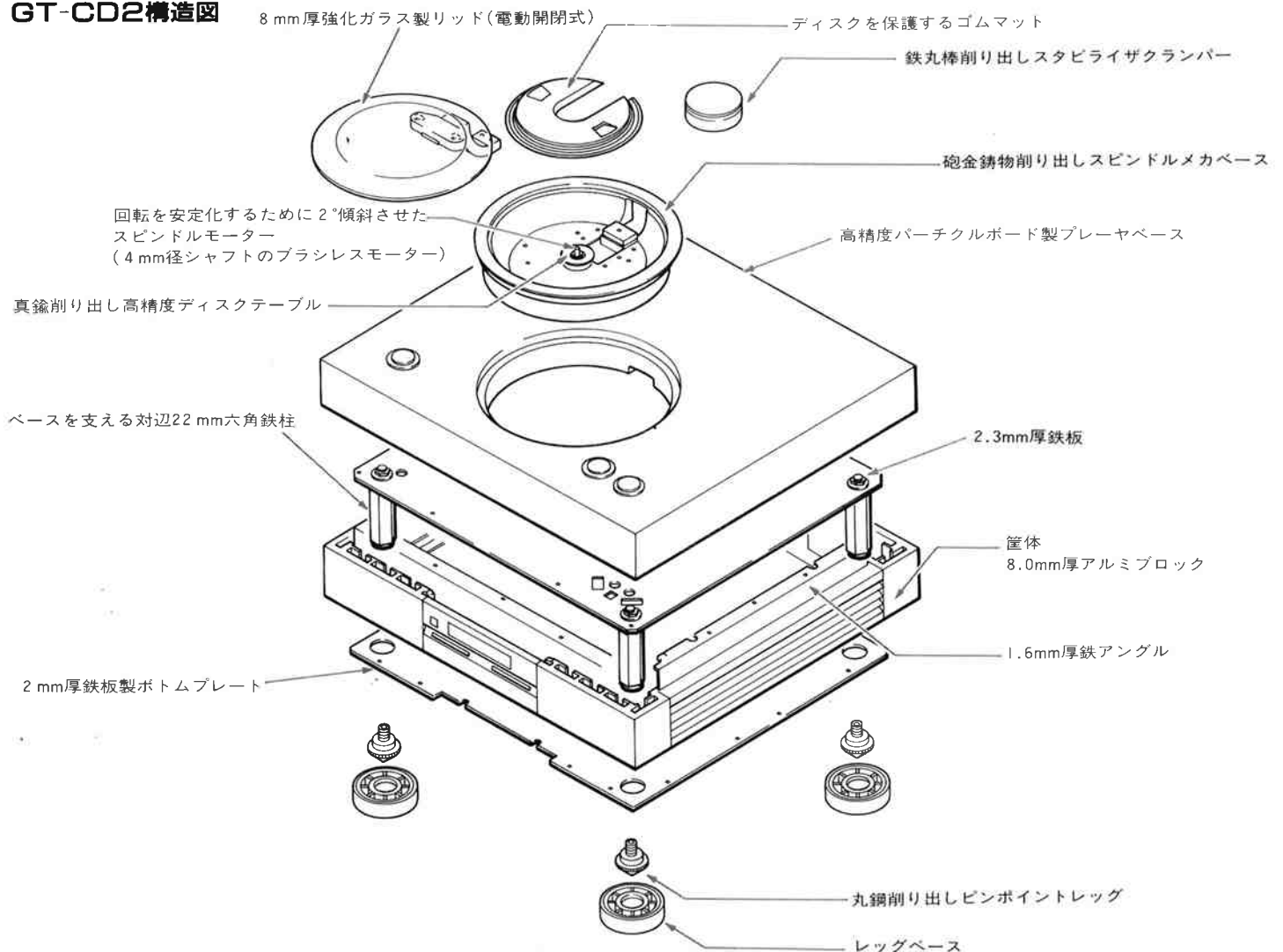
■総 合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	19W
外形寸法(W×H×D)	435×157×405mm
重量	24kg
付属品	スタビライザクランパー×1 リモコン×1 単3乾電池(SUM-3)×2 2Pピンプラグケーブル×1 クリーナークロス×1

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



GT-CD2構造図



ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- 保証期間
お買い上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

- 北海道 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
Tel(011)513-5036
- 仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
Tel(022)236-0249
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
Tel(025)243-4321
- 東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル
Tel(03)3255-2241
- 首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
Tel(044)434-3100
- 浜松 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
Tel(053)465-1158
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
Tel(052)652-2230
- 大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
Tel(06)877-5262
- 神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内
Tel(078)321-1195
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
Tel(0878)22-3045
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区西原 2-27-39
Tel(082)874-3787
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
Tel(092)472-2134

- 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品名は本機背面パネル、製造番号は底面パネルに表示してあります。
- 外観部品の補修について
補修用性能部品以外の外観部品の補修については部品の性格上、補修が出来ない場合もございますので、事前に弊社サービス拠点にご相談ください。補修可能な場合は、事前の見積り等お客様へのご確認のもとに補修させていただきます。

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

- 東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
東京事業所 Tel(03)3255-5691
Tel(03)3255-6767
- 名古屋 〒460 名古屋市中区錦1丁目18-28
名古屋営業所 Tel(052)232-5740
- 大阪 〒556 大阪市浪速区難波中1-13-17
なんば辻本ニッセイビル
大阪事業所 Tel(06)647-6411
- 本社 〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
お客様ご相談センター
Tel(053)460-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営業部 Tel(053)460-3451
品質保証室 Tel(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA